

同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和2年 10月8日

同志社大学フォーミュラプロジェクト
9月活動報告

仲秋の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFP）の9月の活動についてご報告させていただきます。20年度は残念ながら大会が開催されませんでした。現在、当プロジェクトではスポンサー企業様・個人支援者様の御支援・御協力により活動を進めており、21年度の大会で過去最高の成績を獲得するための車両を作り上げるべく、車両設計やオンラインによる会議を行っております。そして、多大なるご支援していただいております企業の皆様、先生方、OBの皆様方に深く感謝いたします。今後とも宜しくお願い申し上げます。



写真1. 19年度の車両

1. 活動報告

設計相談会の開催

9月27日(日)にオンライン設計相談会を開催致しました。当相談会では21年度設計を行うにあたり部員が抱えている疑問点の解決、知識不足の補填等をして頂きました。学内学外問わず15名ほどのOBの方々が参加して下さい、21年度の車両設計構想に対し様々な視点から多くの助言を頂きました。今後の設計構想に役立てて参りたいと思います。参加していただいた皆様ありがとうございました。

定期的なオンライン進捗報告会の開催

自粛期間中より、部員達で進捗等を報告する会議を最低週に1度行っております。主な内容としましては各班における21年度大会での目標、設計の方針、設計を行う中で行き詰った内容の相談等が挙げられます。

全体の

以下に各班における簡単な設計方針を記載致します。

エンジン班

19、20年度で課題であったオイル漏れ対策が最優先だと考えております。加えましてフレーム変更により干渉すると予測されるエキマニの再設計も行う予定でございます。また、エンジンダイナモも20年度に引き続き活用し、設計を進めて参ります。

ドライブトレイン班

部品の精度を上げることで信頼性の向上を徹底して参ります。またデフの重心を下げることで車両の低重心化、ドライバビリティの向上につなげていこうと考えております。

電装班

主にハーネスの組み直し、バッテリーの選定等を行うことで以前より軽量化することを目指しております。また雨対策や漏電対策を考え直すことでより信頼性の高い車両の製作に貢献しようと考えております。

フレーム班

フレームは、重心低下かつヨー慣性の上昇を防ぐ事を目標として設計を行っていく予定でございます。バケットのモデルの決定、スケッチによるフレーム概形決定、エンジン等の位置決定を早期段階で行うことで他班との連携をよりスムーズに進めて参ります。

サスペンション班

設計目標としましてはドライバビリティの向上を掲げております。前後重量比やトレッドホイールベース、アーム長などの設計を行い、20年度より操縦性のよい車両製作に努めてまいります。

エアロダイナミクス班

動的種目完走に向けてマウント形状を再検討し設計を進めております。翼状の大きな変更はありませんが、傾斜や配置等を調整することでよりダウンフォースを獲得できるような車両製作を行って参ります。

ステアリング班

21年度の目標としましては、ドライバビリティの向上を掲げております。そこでステアリングホイールにサムホールをつける、2ペダルから3ペダルへの変更等を行うことで目標を達成できると考えております。

2. スポンサー様

20年度大会は開催されませんでした。温かい御支援御声援を頂きありがとうございました。21年度大会に向けて頑張ってお参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



同志社大学 機械系学科
教職員・非常勤講師の皆様
DUFPOB・OG会の皆様

3. 今後の活動予定

今後の活動予定は以下の通りです。(すべてオンラインで行う予定です。)

- 10月10日(土) 部内進捗報告会
- 10月11日(日) 第2回設計相談会
- 10月18日(日) 第1回デザインレビュー

現在申請中である工場や部室の使用許可が下りれば、10月半ば頃より部室での設計の擦り合わせや、車両製作に本格的に取り組む予定でございます。

4. 最後に

20年度はコロナウイルスの蔓延により大会が行われず、製作や引継ぎも完全ではない状態で21年度プロジェクトが開始致しました。開始当初から現在に至るまで弊プロジェクトの活動は、基本オンラインで行っており車両設計も当初の予定通りには進んでおりません。

今後の活動につきましても、しばらくは再開できるのか不透明な状態が続きますが、それまでは各自で勉学に励み、週に1度のオンライン会議等で積極的に車両設計に関して意見交換を行うことで、より良い設計を目指して参ります。健康管理を徹底し、この環境の中で実行できる最大限のことを実行することで、過去最高の成績を残せるよう精進して参ります。

本年度も御支援御協力をよろしくお願い致します。

同志社大学フォーミュラプロジェクト (DUFPP)
2020年度プロジェクト総務 渡邊 誠也

〒610-0394

京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

URL : <http://dufp.racing>

E-mail : cgud5074@mail4.doshisha.ac.jp
